

愛媛県美術館所蔵

杉浦非水

モダンデザインの先駆者

2017年
4月15日土—6月11日日

SUGIURA



HISUI SUGIURA : A PIONEER OF JAPANESE GRAPHIC DESIGNER

主催：細見美術館 京都新聞 特別協力：愛媛県美術館

休館日：毎週月曜日 開館時間：午前10時～午後6時（入館は、午後5時30分まで）

入館料：一般1,200円（1,100円） 学生 1,000円（900円） ※（ ）内は20名以上の団体料金

会場：細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>

ご優待	一般 1,200円→1,100円 学生 1,000円→900円 ※本紙にて4名様まで100円引。
-----	--

※台より二編見録 香の野原集刊会 大正3年（1914）『非水百夜図』昭和4-9年（1929-34）『美術美術雑誌』カルピス 大正15年（1926）『明治美術家』『百合子』下 大正2年（1913）『愛媛二編』昭和10月10日開展 昭和5年（1930）『非水百夜図集』『フーリス』第十八号 大正5年（1916）『科学の神をまつる地下鉄道』上野海軍公園展 昭和2年（1927）『少年世界』第十八巻第一号 昭和44年（1911）12月『非水—最良の美術家』大正10年（1921）『東京地—本地下鉄道』上野海軍公園展 昭和2年（1927）『ふっしタイムス』第九巻第四号 昭和44年（1911）4月『二編』第十八巻第五号 大正14年（1925）6月『非水百夜図集』昭和2-3年頃 ※すべて愛媛県美術館蔵 ※会期中、一部展示替があります。

杉浦非水

2017年 4月15日(土) - 6月11日(日) ※一部展示替有り

モダンデザインの先駆者

本展では、愛媛県美術館が所蔵する約7000件に及ぶ非水の作品、関連資料の中から、代表作を中心にさまざまな分野の作品をご紹介します。京都で非水を単独で取り上げる初めての展覧会となるこの機会に、非水のモダンかつおしゃれなデザイン世界をご堪能ください。

杉浦非水

明治9(1876) - 1965

明治・大正・昭和にわたり活躍したデザイナー。愛媛県松山市生まれ。東京美術学校で川端玉章に師事し日本画を学ぶも、洋画家・黒田清輝がフランスよりもたらしめたアール・ヌーヴォー様式の図案類に魅せられ、以後図案家となる。

明治41年(1908)には三越呉服店に入社、同店のポスターやPR誌の表紙絵などを27年間手掛けた。このほか、雑誌の表紙、書籍の装幀、絵葉書、ポスター、パンフレット、商品パッケージやラベルなど多くの分野で先進的なデザインを数多く残している。

A PIONEER OF JAPANESE GRAPHIC DESIGNER HISUI SUGIURA



豊かな表現

さまざまな種類の動植物、麗しい女性の姿、活気に満ちた都市風景など、和洋のモチーフを用い、西洋の様式も取り入れながら創作されたデザインは、実に多種多様。豊かな発想力と表現力が非水デザインの魅力につながっています。

日本で最初の
グラフィックデザイナー

非水が活躍した時代は、まさに日本におけるグラフィックデザインの創成期。新しい時代を迎え、広告宣伝の有効性が高まる中、商業デザインの先頭をきり、時代の気分にあふわしいデザインを次々考案しました。

ヤマサ醤油 1920年代
『週刊』第十五巻第十号 大正13年(1924)10月
『三越』第十五巻第六号 大正14年(1925)6月

会期中のイベント

■は事前申込制・有料。

□ギャラリートーク 事前申込制が必要です。
4月15日(土) 午前11時～・午後3時～
講師：長井健氏(愛媛県美術館 専門学芸員)

□第39回アートキューブレクチャー
「近代広告の誕生—非水が目指したポスターというニューメディア」
5月28日(日) 午後2時～
講師：竹内幸絵氏(同志社大学 教授)
会場：京都国立近代美術館 講堂

■茶室で楽しむ アートサロン
5月13日(土) 午前11時～・午後2時～
講師：堀井麻純(当館 主任学芸員)

イベントの詳細はホームページをご覧ください。

『カルピス』(徳用電報紙(附)) 289号 大正11年(1922) 10月5日発行
『三越』第十五巻第五号 289号 大正14年(1925) 5月



●市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分。
●市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分。
●地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分。
ご来館には公共交通機関をご利用下さい。